



Gather

4月の3年生、がんばっていました！



対面式を行いました！

4月15日（木）校庭にて、全学年がお互いに対面をする機会に恵まれました。小さくてかわいらしい1年生を前にしてみると、3年生は体も表情もずいぶんと大人に見えました。入学して丸2年経つとこんなにも成長するものかと改めてうれしく思いました。1年生の頃を振り返ってみると、何をやるにしても「先頭に立って行動することが苦手」「拳手をして発言すると周りがどう思うか心配」などと消極的な人が多かったように思います。しかし、今や、オリエンテーションでの係や委員会を決定する際にはどのクラスも積極的に立候補する人が増えました。とてもすばらしいことですね。「役割に就くこと」も大切ですが「役割をやろうとすること」のほうが断然素敵です。何事も前向きに捉え、がんばれる3年生になれる気がしました！

集団行動に力を入れてがんばっています

4月の保健体育の授業では、グループでの学習として集団行動を行っています。新しいクラスメイトと話をしてみたり、教え合ったりすることが新学級にとって価値があります。集団行動ができるクラスは、

- ・学びがしやすいクラス
- ・学級の矢印がそろいやすい（まとまりやすい）クラス
- ・リーダーを中心に育っていくクラス

です。私にとって、陽北中学校では初めての取組ですが、号令者を中心に楽しく笑顔で練習をしています。何よりも普通に考えれば面倒な活動を、前向きに元気にやろうとする姿。小さなことにこだわって練習している姿。3年生とてもすばらしいです。



『教室環境』が人に与える影響は？

3年生がスタートし、クラスの友達と過ごす中で、多くの人がだんだんと居心地がよくなってきているように見えます。毎日生活をしていて「これぐらいいいや」という甘えた気持ちが生まれてきていませんか？よく「環境が人を育てる」と言いますが、みなさんはどう思いますか。

・目に見えないもの（思い、感情、目標など）を揃えることは簡単ではない。だから、まず目に見える物を揃えることで、集団が整いやすくなる。

・人間の情報の中で「視覚」が占める割合は9割にものぼる。身の回り（見える物）がきれい（整っている）だと心の中もきれいになりやすい。と同時に、そのことによって気持ちや心の整理がつきやすことは言うまでもない。

・人間の時間は誰にとっても平等で有限である。「物を探している時間」を「自分を磨く時間」や「友達と会話して幅を広げる時間」にすることはだろうか。

・清掃の一番の目的は、「自分にできることは何か」を考える時間である。環境の中には、たくさんの小さな「できる」がある。それを「発見する」ことで視野や考え方の広がりを獲得することができる。こういった考え方で行動を選択するか、あなた次第です。

